



2019年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月15日

上場会社名 富士紡ホールディングス株式会社
 コード番号 3104 URL <https://www.fujibo.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役会長兼社長 (氏名) 中野 光雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 吉田 和司

TEL 03-3665-7612

定時株主総会開催予定日 2019年6月27日 配当支払開始予定日

2019年6月28日

有価証券報告書提出予定日 2019年6月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト・機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | |
|----------|--------|------|-------|------|-------|------|-----------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年3月期 | 37,097 | 3.4 | 3,779 | 5.3 | 3,983 | 6.7 | 2,538 | 12.7 |
| 2018年3月期 | 35,891 | 12.2 | 3,989 | 41.5 | 4,269 | 39.7 | 2,908 | 33.1 |

(注) 包括利益 2019年3月期 2,348百万円 (22.5%) 2018年3月期 3,030百万円 (32.8%)

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | 自己資本当期純利益率 | 総資産経常利益率 | 売上高営業利益率 |
|----------|------------|-------------------|------------|----------|----------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2019年3月期 | 221.93 | | 7.8 | 7.9 | 10.2 |
| 2018年3月期 | 254.22 | | 9.3 | 8.6 | 11.1 |

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 百万円 2018年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2019年3月期 | 52,270 | 32,778 | 62.7 | 2,865.73 |
| 2018年3月期 | 48,390 | 32,148 | 66.4 | 2,810.48 |

(参考) 自己資本 2019年3月期 32,778百万円 2018年3月期 32,148百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|----------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2019年3月期 | 4,808 | 3,339 | 1,302 | 4,830 |
| 2018年3月期 | 3,698 | 5,309 | 2,434 | 4,694 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産配当 率(連結) |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|---------------|--------------|----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2018年3月期 | | 0.00 | | 100.00 | 100.00 | 1,143 | 39.3 | 3.7 |
| 2019年3月期 | | 50.00 | | 50.00 | 100.00 | 1,143 | 45.1 | 3.5 |
| 2020年3月期(予想) | | 50.00 | | 50.00 | 100.00 | | | |

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|-----|-------|-----|-------|-----|-----------------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 18,600 | 4.8 | 1,700 | 2.6 | 1,800 | 2.5 | 1,150 | 3.7 | 100.54 |
| 通期 | 38,700 | 4.3 | 3,800 | 0.5 | 4,000 | 0.4 | 2,600 | 2.4 | 227.31 |

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2019年3月期 | 11,720,000 株 | 2018年3月期 | 11,720,000 株 |
| 期末自己株式数 | 2019年3月期 | 281,911 株 | 2018年3月期 | 281,205 株 |
| 期中平均株式数 | 2019年3月期 | 11,438,363 株 | 2018年3月期 | 11,439,079 株 |

(参考) 個別業績の概要

2019年3月期の個別業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年3月期 | 4,187 | 13.2 | 1,316 | 30.7 | 1,542 | 28.5 | 1,374 | 36.5 |
| 2018年3月期 | 4,823 | 27.1 | 1,898 | 49.8 | 2,159 | 38.8 | 2,164 | 30.5 |

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 |
|----------|------------|-------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期 | 120.14 | |
| 2018年3月期 | 189.18 | |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|----------|----------|--|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 | 円 銭 | |
| 2019年3月期 | 31,145 | 23,948 | 23,948 | 24,389 | 76.9 | 2,093.79 | 2,132.18 | |
| 2018年3月期 | 32,225 | 24,389 | 24,389 | 24,389 | 75.7 | 2,132.18 | 2,132.18 | |

(参考) 自己資本 2019年3月期 23,948百万円 2018年3月期 24,389百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2019年5月16日(木)にアナリスト・機関投資家向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については、開催後速やかにホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 3 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 3 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 8 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 10 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 11 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 11 |
| (未適用の会計基準等) | 11 |
| (表示方法の変更) | 11 |
| (セグメント情報等) | 12 |
| (1株当たり情報) | 17 |
| (重要な後発事象) | 17 |
| 4. その他 | 18 |
| (1) 役員の異動 | 18 |
| (2) 監査役の異動 | 18 |
| (3) 執行役員の異動 | 18 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善などを背景に緩やかな回復基調で推移しました。一方、海外では米中貿易摩擦の激化や英国のEU離脱問題など、期の後半にかけて海外経済の不確実性が高まり、先行き不透明な状況が続きました。

このような経営環境の下、当フジボウグループは中期経営計画『加速17-20』において、計画期間の前半2年間で拡大に向けての「変革の加速」ステージと位置付け、基本戦略である「収益性の高い研磨材・化学工業品事業の積極的な拡大」のための基盤創りと「繊維事業の構造改革による反転攻勢」に取り組んでおります。

この結果、当連結会計年度の売上高は前年同期比1,205百万円(3.4%)増収の37,097百万円、営業利益は210百万円(5.3%)減益の3,779百万円、経常利益は286百万円(6.7%)減益の3,983百万円となりました。これから特別損益と法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期比369百万円(12.7%)減益の2,538百万円となりました。

セグメント別の業績は以下の通りであります。

①研磨材事業

主力の超精密加工用研磨材は、半導体デバイス用途(CMP)等はメモリ・通信用途等を中心とした好調な半導体需要を受け拡大し、ハードディスク用途もデータセンター向けサーバー用需要が底堅く堅調に推移しました。しかしながら、期の終盤では中国の消費減速を背景とした電子部品の出荷落ちの影響を受けました。また、液晶ガラス用途はパネル在庫調整が続き減少しました。

この結果、売上高は前年同期比90百万円増収の10,733百万円、営業利益は170百万円減益の2,081百万円となりました。

②化学工業品事業

機能化学品および医薬中間体などの受託製造は、機能化学品を中心とした新規受注により、堅調に推移しました。また、中国における環境規制の影響による化学工業品生産の日本国内回帰の傾向もあり、柳井工場・武生工場ともにフル稼働となり、売上高・営業利益が過去最高となりました。

この結果、売上高は前年同期比1,588百万円増収の11,305百万円、営業利益は312百万円増益の919百万円となりました。

③繊維事業

アンダーウェアを中心とする繊維製品は、インターネットなど新規チャネルでの販売は拡大を続けておりますが、衣料品売場の縮小が続く大手量販店でのメンズインナー定番品の販売が縮小しました。繊維素材では、原材料高騰による製造コスト上昇に対応するため、高採算商材へのシフトと販売量にあわせた設備規模の縮小を行うとともに、老朽設備の新鋭化による生産性向上に取り組みました。

この結果、売上高は前年同期比826百万円減収の11,550百万円、営業利益は335百万円減益の636百万円となりました。

④その他

貿易事業は、農業用機械などの輸出は安定的に推移した一方、車両・タイヤなどの自動車関連は大幅に取引が減少しましたが、収益性の高い商材への集中と経費削減で利益は改善しました。化成品事業は、医療機器用部品が堅調に推移しました。また、2018年10月1日付で取得し連結対象となったプラスチック射出成形用金型子会社の売上高が増加しましたが、同社株式の取得関連費用が発生しました。

この結果、売上高は前年同期比353百万円増収の3,508百万円、営業利益は16百万円減益の143百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産

流動資産は前連結会計年度末に比べて717百万円増加の19,858百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金やたな卸資産などが増加したことによります。固定資産は前連結会計年度末に比べて3,162百万円増加の32,411百万円となりました。これは、主として研磨材事業における設備投資に伴い有形固定資産が増加したことによります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べて3,880百万円増加の52,270百万円となりました。

②負債

流動負債は前連結会計年度末に比べて2,909百万円増加の12,168百万円となりました。これは、短期借入金や設備投資に伴いその他の流動負債が増加したことなどによります。固定負債は前連結会計年度末に比べて341百万円増加の7,323百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて3,250百万円増加の19,492百万円となりました。

③純資産

純資産合計は前連結会計年度末に比べて630百万円増加し、32,778百万円となりました。これは、剰余金の配当による減少が1,715百万円ありましたが、親会社株主に帰属する当期純利益の計上による増加が2,538百万円あったことなどによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、法人税等の支払などがありましたが、税金等調整前当期純利益や減価償却費の計上などにより4,808百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、主として固定資産の取得による支出により、3,339百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、配当金の支払などにより、1,302百万円の支出となりました。

この結果、当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて136百万円増加の4,830百万円となりました。

(4) 今後の見通し

景気の先行きは、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題などにより先行き不透明な状況となっております。こうしたことから、次期の業績予想につきましては、売上高38,700百万円（前年同期比4.3%増収）、営業利益3,800百万円（前年同期比0.5%増益）、経常利益4,000百万円（前年同期比0.4%増益）、親会社株主に帰属する当期純利益2,600百万円（前年同期比2.4%増益）を見込んでおります。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想値と大きく異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性ならびに国際的な資金調達を行っていないこと等を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当連結会計年度 (2019年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,764 | 4,895 |
| 受取手形及び売掛金 | 8,843 | 9,369 |
| 商品及び製品 | 2,220 | 2,191 |
| 仕掛品 | 1,736 | 1,924 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,064 | 1,118 |
| その他 | 528 | 376 |
| 貸倒引当金 | △17 | △17 |
| 流動資産合計 | 19,141 | 19,858 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 14,568 | 15,137 |
| 減価償却累計額 | △8,582 | △8,234 |
| 建物及び構築物（純額） | 5,985 | 6,903 |
| 機械装置及び運搬具 | 27,070 | 28,313 |
| 減価償却累計額 | △21,820 | △22,591 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 5,250 | 5,721 |
| 土地 | 13,874 | 13,912 |
| リース資産 | 88 | 159 |
| 減価償却累計額 | △57 | △104 |
| リース資産（純額） | 30 | 55 |
| 建設仮勘定 | 738 | 1,594 |
| その他 | 2,070 | 2,780 |
| 減価償却累計額 | △1,691 | △1,840 |
| その他（純額） | 378 | 939 |
| 有形固定資産合計 | 26,258 | 29,126 |
| 無形固定資産 | 380 | 828 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,163 | 2,024 |
| 繰延税金資産 | 154 | 136 |
| その他 | 292 | 294 |
| 貸倒引当金 | △0 | △0 |
| 投資その他の資産合計 | 2,610 | 2,456 |
| 固定資産合計 | 29,248 | 32,411 |
| 資産合計 | 48,390 | 52,270 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当連結会計年度 (2019年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 4,048 | 3,576 |
| 電子記録債務 | 510 | 1,040 |
| 短期借入金 | 1,217 | 1,879 |
| リース債務 | 97 | 90 |
| 未払法人税等 | 325 | 581 |
| 賞与引当金 | 659 | 648 |
| 返品調整引当金 | 42 | 44 |
| その他 | 2,359 | 4,307 |
| 流動負債合計 | 9,259 | 12,168 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 120 | 426 |
| リース債務 | 107 | 80 |
| 繰延税金負債 | 726 | 812 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 732 | 732 |
| 退職給付に係る負債 | 4,947 | 4,860 |
| 資産除去債務 | 240 | 307 |
| その他 | 107 | 104 |
| 固定負債合計 | 6,982 | 7,323 |
| 負債合計 | 16,241 | 19,492 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6,673 | 6,673 |
| 資本剰余金 | 2,174 | 2,174 |
| 利益剰余金 | 21,631 | 22,455 |
| 自己株式 | △571 | △573 |
| 株主資本合計 | 29,907 | 30,729 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 668 | 550 |
| 繰延ヘッジ損益 | △8 | △6 |
| 土地再評価差額金 | 1,272 | 1,270 |
| 為替換算調整勘定 | 330 | 238 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △21 | △3 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,240 | 2,048 |
| 非支配株主持分 | 0 | 0 |
| 純資産合計 | 32,148 | 32,778 |
| 負債純資産合計 | 48,390 | 52,270 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 35,891 | 37,097 |
| 売上原価 | 23,453 | 24,685 |
| 売上総利益 | 12,438 | 12,412 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 運送費及び保管費 | 1,006 | 1,001 |
| 広告宣伝費 | 914 | 885 |
| 給料及び賃金 | 1,796 | 1,840 |
| 貸倒引当金繰入額 | △2 | △0 |
| 退職給付費用 | 309 | 266 |
| 賞与引当金繰入額 | 229 | 216 |
| 技術研究費 | 964 | 993 |
| その他 | 3,229 | 3,429 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 8,448 | 8,632 |
| 営業利益 | 3,989 | 3,779 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4 | 5 |
| 受取配当金 | 46 | 47 |
| 固定資産賃貸料 | 234 | 254 |
| 補助金収入 | 135 | — |
| その他 | 37 | 41 |
| 営業外収益合計 | 458 | 350 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 12 | 14 |
| 固定資産賃貸費用 | 64 | 67 |
| コミットメントフィー | 35 | 33 |
| その他 | 66 | 31 |
| 営業外費用合計 | 179 | 146 |
| 経常利益 | 4,269 | 3,983 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | — |
| 投資有価証券売却益 | 186 | 0 |
| 特別利益合計 | 187 | 0 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 121 | 96 |
| 減損損失 | 21 | 25 |
| 関係会社清算損 | 41 | — |
| 環境対策費 | 41 | — |
| その他 | 1 | 1 |
| 特別損失合計 | 227 | 124 |
| 税金等調整前当期純利益 | 4,229 | 3,859 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,250 | 1,156 |
| 法人税等調整額 | 70 | 164 |
| 法人税等合計 | 1,321 | 1,320 |
| 当期純利益 | 2,908 | 2,538 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 0 | 0 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 2,908 | 2,538 |

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 当期純利益 | 2,908 | 2,538 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △71 | △118 |
| 繰延ヘッジ損益 | △1 | 2 |
| 為替換算調整勘定 | 153 | △92 |
| 退職給付に係る調整額 | 41 | 17 |
| その他の包括利益合計 | 122 | △190 |
| 包括利益 | 3,030 | 2,348 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 3,030 | 2,348 |
| 非支配株主に係る包括利益 | 0 | △0 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2017年4月1日至2018年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-------|-------|--------|------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 6,673 | 2,174 | 19,750 | △569 | 28,028 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △1,029 | | △1,029 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 2,908 | | 2,908 |
| 土地再評価差額金の取崩 | | | 2 | | 2 |
| 自己株式の取得 | | | | △1 | △1 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 1,881 | △1 | 1,879 |
| 当期末残高 | 6,673 | 2,174 | 21,631 | △571 | 29,907 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|---------|----------|----------|--------------|---------------|---------|--------|
| | その他有価証券評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 土地再評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 739 | △7 | 1,274 | 176 | △62 | 2,120 | 0 | 30,149 |
| 当期変動額 | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | | △1,029 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | | | 2,908 |
| 土地再評価差額金の取崩 | | | | | | | | 2 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | | △1 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △71 | △1 | △2 | 153 | 41 | 119 | 0 | 119 |
| 当期変動額合計 | △71 | △1 | △2 | 153 | 41 | 119 | 0 | 1,998 |
| 当期末残高 | 668 | △8 | 1,272 | 330 | △21 | 2,240 | 0 | 32,148 |

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-------|-------|--------|------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 6,673 | 2,174 | 21,631 | △571 | 29,907 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △1,715 | | △1,715 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 2,538 | | 2,538 |
| 土地再評価差額金の取崩 | | | 1 | | 1 |
| 自己株式の取得 | | | | △2 | △2 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 824 | △2 | 821 |
| 当期末残高 | 6,673 | 2,174 | 22,455 | △573 | 30,729 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|---------|----------|----------|--------------|---------------|---------|--------|
| | その他有価証券評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 土地再評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 668 | △8 | 1,272 | 330 | △21 | 2,240 | 0 | 32,148 |
| 当期変動額 | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | | △1,715 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | | | 2,538 |
| 土地再評価差額金の取崩 | | | | | | | | 1 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | | △2 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △118 | 2 | △1 | △92 | 17 | △191 | △0 | △191 |
| 当期変動額合計 | △118 | 2 | △1 | △92 | 17 | △191 | △0 | 630 |
| 当期末残高 | 550 | △6 | 1,270 | 238 | △3 | 2,048 | 0 | 32,778 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 4,229 | 3,859 |
| 減価償却費 | 2,058 | 2,111 |
| のれん償却額 | 25 | 24 |
| 減損損失 | 21 | 25 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △3 | △0 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 101 | △62 |
| 受取利息及び受取配当金 | △51 | △53 |
| 支払利息 | 12 | 14 |
| 為替差損益 (△は益) | 9 | △11 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | △186 | △0 |
| 固定資産売却損益 (△は益) | △0 | — |
| 固定資産処分損益 (△は益) | 121 | 96 |
| 関係会社清算損益 (△は益) | 41 | — |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 19 | △279 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 28 | △209 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △329 | △0 |
| その他 | △323 | 73 |
| 小計 | 5,773 | 5,586 |
| 利息及び配当金の受取額 | 51 | 53 |
| 利息の支払額 | △12 | △13 |
| 法人税等の支払額 | △2,114 | △817 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 3,698 | 4,808 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形及び無形固定資産の取得による支出 | △5,478 | △2,862 |
| 有形及び無形固定資産の売却による収入 | 14 | 12 |
| 有形固定資産の除却による支出 | △40 | △70 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △8 | △9 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 232 | 0 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | — | △413 |
| 貸付金の回収による収入 | 4 | 1 |
| その他 | △33 | 1 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △5,309 | △3,339 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △1,000 | 466 |
| 長期借入れによる収入 | — | 300 |
| 長期借入金の返済による支出 | △287 | △252 |
| 自己株式の取得による支出 | △1 | △2 |
| 配当金の支払額 | △1,025 | △1,709 |
| リース債務の返済による支出 | △119 | △104 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △2,434 | △1,302 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 43 | △30 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △4,002 | 136 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 8,697 | 4,694 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 4,694 | 4,830 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(未適用の会計基準等)

- ・「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 平成30年3月30日)
- ・「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 平成30年3月30日)

(1) 概要

収益認識に関する包括的な会計基準であります。収益は、次の5つのステップを適用し認識されます。

- ステップ1：顧客との契約を識別する。
- ステップ2：契約における履行義務を識別する。
- ステップ3：取引価格を算定する。
- ステップ4：契約における履行義務に取引価格を配分する。
- ステップ5：履行義務を充足した時に又は充足するにつれて収益を認識する。

(2) 適用予定日

2022年3月期の期首より適用予定であります。

(3) 当該会計基準等の適用による影響

影響額は、当連結財務諸表の作成時において評価中であります。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日。以下「税効果会計基準一部改正」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しました。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」404百万円及び「固定負債」の「繰延税金負債」のうちの326百万円を「投資その他の資産」の「繰延税金資産」154百万円に含めて表示し、「固定負債」の「繰延税金負債」は726百万円として表示しております。

(連結損益計算書関係)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業外費用」の「為替差損」は、営業外費用の総額の100分の10以下となったため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外費用」に表示していた「為替差損」20百万円、「その他」45百万円は、「その他」66百万円として組み替えております。

(セグメント情報等)

①セグメント情報

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は持株会社として製品・サービスについて国内及び国外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは製品・サービス別のセグメントから構成されており、「研磨材事業」、「化学工業品事業」、「繊維事業」の3つを報告セグメントとしております。

「研磨材事業」は、超精密加工用研磨材及び不織布の製造及び販売をしております。「化学工業品事業」は、化学工業製品の製造及び販売をしております。「繊維事業」は、紡績糸、織物及び編物などの素材から二次製品にいたる各種繊維工業品の製造、加工及び販売をしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

なお、当連結会計年度より「税効果会計基準一部改正」を適用しており、前連結会計年度のセグメント資産については遡及適用後の数値を記載しております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益、資産その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 連結財務諸 表計上額 (注) 3 |
|------------------------|-----------|-----------------|--------|--------|--------------|--------|--------------|------------------------|
| | 研磨材 事業 | 化学 工業品 事業 | 繊維事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 10,642 | 9,716 | 12,376 | 32,736 | 3,155 | 35,891 | — | 35,891 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 10 | — | 2 | 13 | — | 13 | △13 | — |
| 計 | 10,653 | 9,716 | 12,379 | 32,749 | 3,155 | 35,904 | △13 | 35,891 |
| セグメント利益 | 2,251 | 606 | 971 | 3,830 | 160 | 3,990 | △0 | 3,989 |
| セグメント資産 | 14,087 | 8,421 | 11,631 | 34,140 | 2,869 | 37,010 | 11,379 | 48,390 |
| その他の項目 | | | | | | | | |
| 減価償却費 | 701 | 1,058 | 188 | 1,947 | 88 | 2,035 | — | 2,035 |
| のれんの償却額 | — | 25 | — | 25 | — | 25 | — | 25 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 3,711 | 522 | 297 | 4,531 | 144 | 4,675 | 90 | 4,766 |

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業、化成品事業及び精製事業等を含んでおります。

2 調整額は以下の通りであります。

(1)セグメント利益の調整額△0百万円には、セグメント間取引消去が含まれております。

(2)セグメント資産の調整額11,379百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産11,380百万円及びセグメント間の債権の相殺消去△0百万円が含まれております。全社資産の主なものは、当社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)、賃貸等不動産及び管理部門に係る資産等であります。

(3)有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額90百万円は、本社ビル内装工事等への設備投資額であります。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 連結財務諸 表計上額 (注) 3 |
|------------------------|-----------|-----------------|--------|--------|--------------|--------|--------------|------------------------|
| | 研磨材 事業 | 化学 工業品 事業 | 繊維事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 10,733 | 11,305 | 11,550 | 33,589 | 3,508 | 37,097 | — | 37,097 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 9 | — | 2 | 11 | 0 | 11 | △11 | — |
| 計 | 10,742 | 11,305 | 11,552 | 33,600 | 3,508 | 37,109 | △11 | 37,097 |
| セグメント利益 | 2,081 | 919 | 636 | 3,636 | 143 | 3,779 | 0 | 3,779 |
| セグメント資産 | 16,779 | 9,594 | 11,101 | 37,475 | 4,184 | 41,659 | 10,611 | 52,270 |
| その他の項目 | | | | | | | | |
| 減価償却費 | 819 | 960 | 193 | 1,973 | 116 | 2,089 | — | 2,089 |
| のれんの償却額 | — | — | — | — | 24 | 24 | — | 24 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 3,616 | 754 | 201 | 4,573 | 180 | 4,753 | 23 | 4,777 |

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業、化成品事業及び精製事業等を含んでおります。

2 調整額は以下の通りであります。

(1)セグメント利益の調整額0百万円には、セグメント間取引消去が含まれております。

(2)セグメント資産の調整額10,611百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産10,611百万円及びセグメント間の債権の相殺消去△0百万円が含まれております。全社資産の主なもの、当社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)、賃貸等不動産及び管理部門に係る資産等であります。

(3)有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額23百万円は、通信機器および情報システム等への設備投資額であります。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

②関連情報

前連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

| 日本 | その他 | 合計 |
|--------|-------|--------|
| 31,584 | 4,307 | 35,891 |

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

| 顧客の名称又は氏名 | 売上高 | 関連するセグメント名 |
|-----------|-------|------------|
| 住友商事ケミカル㈱ | 4,006 | 研磨材事業 |

当連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

| 日本 | その他 | 合計 |
|--------|-------|--------|
| 32,564 | 4,533 | 37,097 |

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

③報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 | 全社・消去 | 合計 |
|------|---------|---------|------|----|-----|-------|----|
| | 研磨材事業 | 化学工業品事業 | 繊維事業 | 計 | | | |
| 減損損失 | — | 11 | — | 11 | — | 10 | 21 |

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 | 全社・消去 | 合計 |
|------|---------|---------|------|----|-----|-------|----|
| | 研磨材事業 | 化学工業品事業 | 繊維事業 | 計 | | | |
| 減損損失 | — | 11 | 5 | 17 | — | 8 | 25 |

④報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 | 全社・消去 | 合計 |
|-------|---------|---------|------|----|-----|-------|----|
| | 研磨材事業 | 化学工業品事業 | 繊維事業 | 計 | | | |
| 当期償却額 | — | 25 | — | 25 | — | — | 25 |
| 当期末残高 | — | — | — | — | — | — | — |

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 | 全社・消去 | 合計 |
|-------|---------|---------|------|---|-----|-------|-----|
| | 研磨材事業 | 化学工業品事業 | 繊維事業 | 計 | | | |
| 当期償却額 | — | — | — | — | 24 | — | 24 |
| 当期末残高 | — | — | — | — | 464 | — | 464 |

⑤報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) |
|------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 2,810.48円 | 2,865.73円 |
| 1株当たり当期純利益 | 254.22円 | 221.93円 |

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

| | 前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) |
|---------------------------------|--|--|
| 1株当たり当期純利益 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益(百万円) | 2,908 | 2,538 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円) | 2,908 | 2,538 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 11,439 | 11,438 |

- 3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

| | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当連結会計年度 (2019年3月31日) |
|-------------------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 純資産の部の合計額(百万円) | 32,148 | 32,778 |
| 純資産の部の合計額から控除する金額(百万円) | 0 | 0 |
| (うち非支配株主持分(百万円)) | (0) | (0) |
| 普通株式に係る期末の純資産額(百万円) | 32,148 | 32,778 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(千株) | 11,438 | 11,438 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

①代表者の変動

該当する事項はありません。

②その他の役員の変動 (2019年6月27日付予定)

・新任取締役候補者

とよおか やすお
取締役 豊岡 保雄
(現 上席執行役員 秘書・お客様相談・広告宣伝担当、
㈱フジボウアパレル代表取締役社長)

取締役 ルース マリー ジャーマン
(現 ㈱ジャーマン・インターナショナル代表取締役社長)

*ルース マリー ジャーマン氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役候補者です。

・退任予定取締役

ふじおか としふみ
取締役 藤岡 敏文 (現 取締役 上席執行役員)

(2) 監査役の変動 (2019年6月27日付予定)

①新任監査役候補者

なまため まさる
非常勤監査役 生田目 克 (現 ㈱アイデンティティ 常勤監査役)

*生田目克氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役候補者です。

おおつか こうたろう
非常勤監査役 大塚 幸太郎 (現 中川・大塚法律事務所 代表弁護士)

*大塚幸太郎氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役候補者です。

②退任予定監査役

いいだ なおき
非常勤監査役 飯田 直樹 (任期満了)

(3) 執行役員の変動 (2019年6月27日付予定)

①昇任予定執行役員

ふじおか としふみ
常務執行役員 藤岡 敏文 (現 取締役 上席執行役員)

②新任予定執行役員

あんどう こうじ
執行役員 安藤 興司 (現 大阪支社長、総務部長)